

# 平成26年度 斜里町水道事業の決算状況について

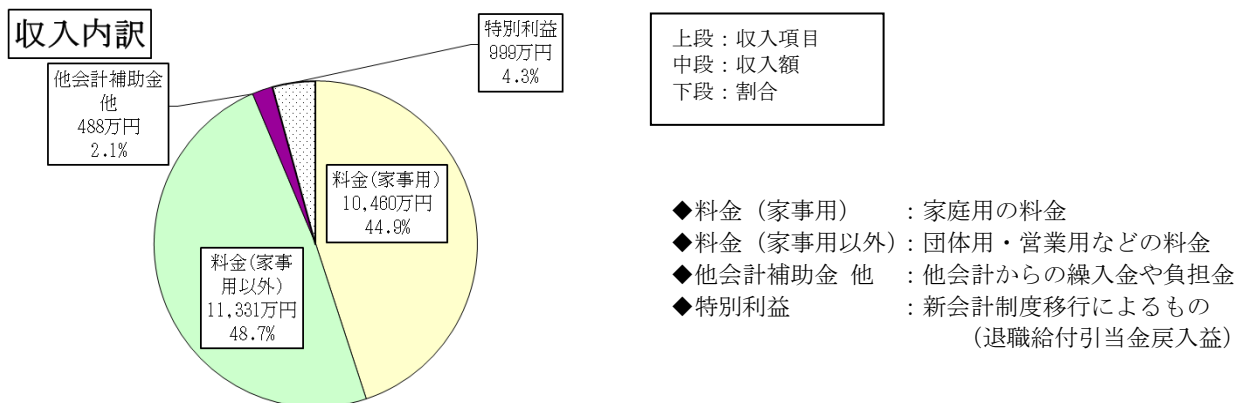


水道事業は、皆さんからお支払い頂いた水道料金をもとに、斜里市街地域・ウトロ地域への水道供給を行っています。平成26年度の決算状況の概要についてお知らせいたします。

## 1. 水道供給に必要な収入・支出について

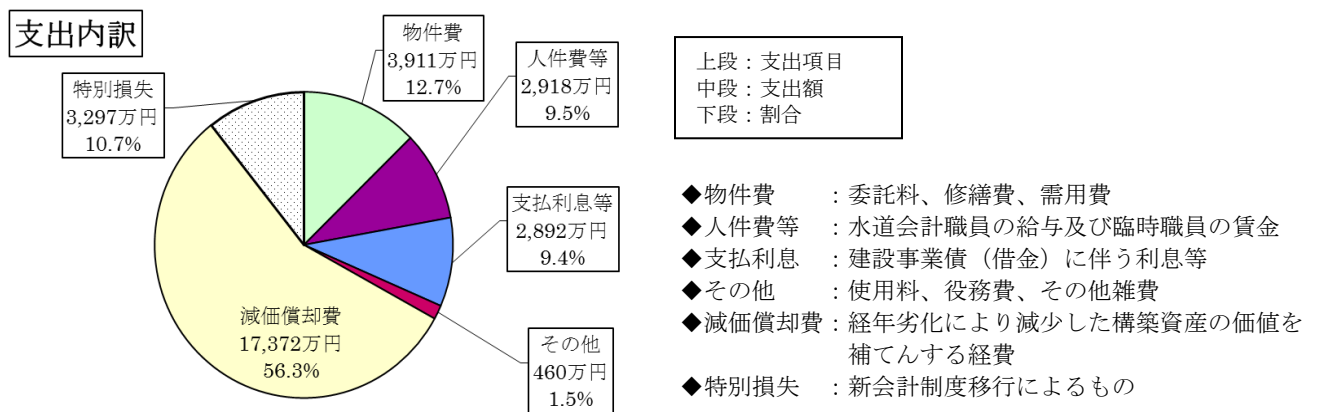
### (1) 収入について（税抜き）

今年度の事業収入（総額2億4,313万円）の内訳については以下のとおりです。そのうち90%の2億1,791万円については、皆さんからお支払い頂いた水道料金です。



### (2) 支出について（税抜き）

水道を供給するための事業経費（総額3億850万円）の内訳については以下のとおりです。



### (3) 今年度の収支結果について（税抜き）

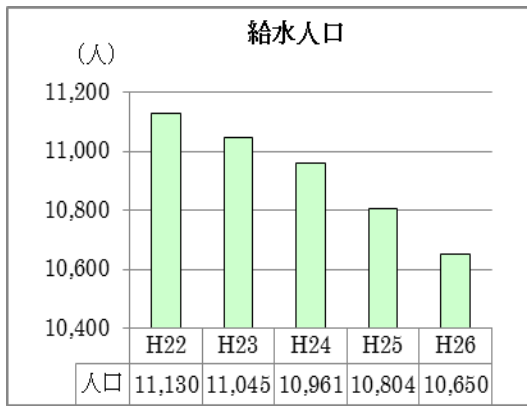
収入	①	2億4,313万円
支出	②	3億0,850万円
<b>当年度純損益</b>	<b>③=①-②</b>	<b>△6,537万円</b>

単年度収支で赤字となった原因は、固定経費が収入を上回っているためであり、改善のためには、さらなる支出の見直しや、収入増の取組みが必要です。

H25年度末利益剰余金(累積赤字)	④	△1億2,716万円
H26年度末利益剰余金(累積赤字)	⑤=③+④	△1億9,253万円

## 2. 過去5年間の推移

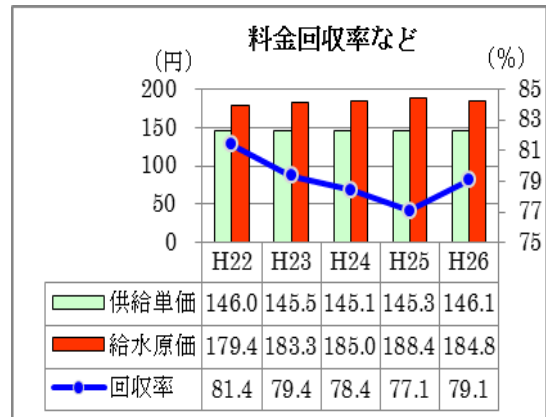
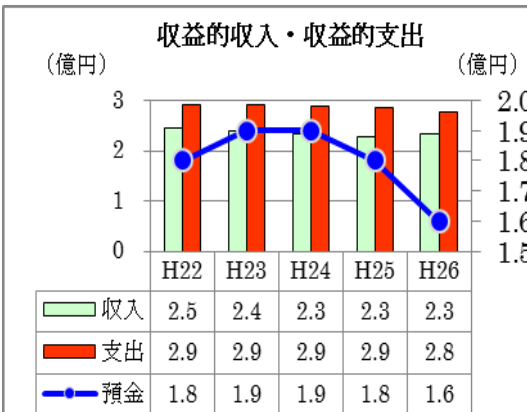
### 人口減少などにより料金収入が減少傾向です



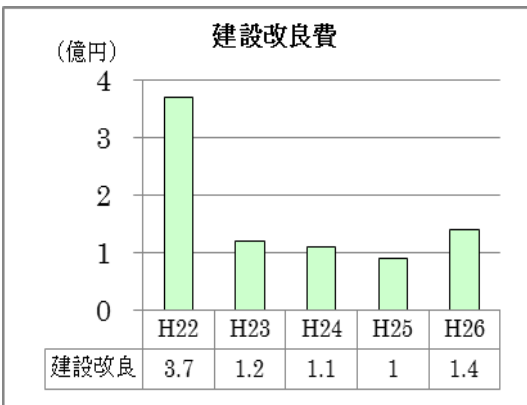
・近年の人口減少に伴う利用者数の減少、節水機器の普及、景気回復の遅れなどにより料金収入が減少し続けています。

・収支状況の悪化により預金が減ってきており、このままでは、あと2年程で資金不足状態に陥る可能性が高まっています。

・料金回収率は、供給単価（販売単価）が給水原価（製造単価）を下回っており、良好とは言えない状態です。



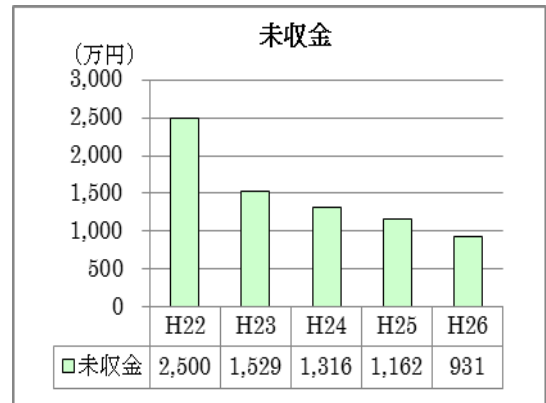
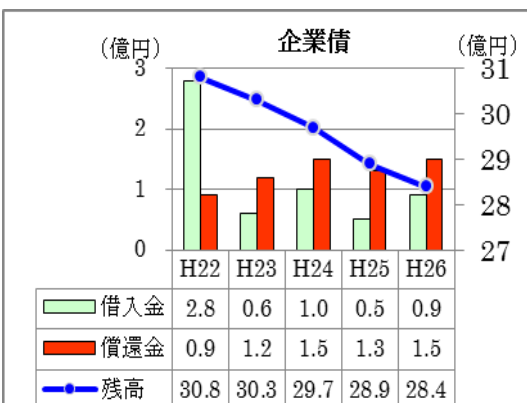
### 経営状況改善に努めています



・建設改良費は、老朽管やメータ器の更新など、最低限の工事の実施としています。

・借金（企業債）の残高を年々減らしています。

・料金の滞納額（未収金）は、早期の納付相談や給水停止などを行い、減少しています。



### 3. 経営比較分析表

経営比較分析表は、次の3つのカテゴリー別に、類似団体平均値との比較を行うことにより、経営の現状・課題等について把握するものです。

(1)経営の健全性

(2)経営の効率性

(3)老朽化の状況

#### (1) 経営の健全性

項目	内容・計算式		斜里町 (H26)	類似団体平均 (H25)*	棒グラフ = 斜里町 折線グラフ = 類似団体平均
① 経常収支比率	内容	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものです。100%を切っていれば赤字となります。	84.6	109.2	<p>① 経常収支比率 (%)</p>
	計算式	$(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$			
② 累積欠損金比率	内容	営業収益に対する累積欠損金の割合を示すものです。給水人口規模の小さい事業ほど概ね高くなる傾向があります。	88.2	11.2	<p>② 累積欠損金比率 (%)</p>
	計算式	$\text{累積欠損金} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})$			
③ 流動比率	内容	1年以内に期限が到来する債務に対する支払能力を示すものです。100%以上が健全です。数値が高いほど支払い能力が高いことを示します。	98.7	1,155.0	<p>③ 流動比率 (%)</p>
	計算式	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$			
④ 企業債残高対給水収益比率	内容	企業債残高が経営に与える影響から見た財務状況の安全性を示すものです。比率が低いほど安全です。	1,302.0	—	<p>④ 企業債残高対給水収益比率 (%)</p>
	計算式	$\text{企業債残高} \div \text{給水収益} \times 100$			

\*「類似団体平均値」については、H26の数値が公表されていないことから、H25の数値を表示しています。

#### (2) 経営の効率性

項目	内容・計算式		斜里町	類似団体平均	棒グラフ = 斜里町 折線グラフ = 類似団体平均
⑤ 料金回収率	内容	料金で費用が賄えているかどうかを示した比率です。100%を下回る状態は、良好とは言えない状態です。	79.1	97.3	<p>⑤ 料金回収率 (%)</p>
	計算式	$\text{販売単価} \div \text{製造原価} \times 100$			

項目	内容・計算式		斜里町	類似団体平均	棒グラフ = 斜里町 折線グラフ = 類似団体平均
⑥ 給水原価(製造原価)	内容	有収水量 1 m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを示すものです。	184.8	169.7	<p>⑥給水原価(円)</p>
	計算式	$[(\text{営業費用} + \text{営業外費用}) - (\text{受託工事費} + \text{材料売払原価} + \text{付帯事業費})] \div \text{年間総有収水量}$			
⑦ 施設利用率	内容	配水能力に対する配水量の割合を示すものです。	44.8	55.3	<p>⑦施設利用率(%)</p>
	計算式	$1 \text{ 日平均配水量} \div \text{配水能力} \times 100$			
⑧ 有収率	内容	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているか示すものです。	80.7	80.3	<p>⑧有収率(%)</p>
	計算式	$\text{年間総有収水量} \div \text{年間総配水量} \times 100$			

### (3) 老朽化の状況

項目	内容・計算式		斜里町	類似団体平均	棒グラフ = 斜里町 折線グラフ = 類似団体平均
⑨ 有形固定資産減価償却率	内容	施設・設備の老朽化の程度を判断するものです。比率が高いほど老朽化が進んでいることを示します。	34.5	38.2	<p>⑨有形固定資産減価償却率(%)</p>
	計算式	$\text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価} \times 100$			

## 4. 今後の方針

安心・安全な水道水の供給を継続するため、水道事業を次のとおり運営します。

- ① 支出の抑制 ～ 支出の見直しを継続し、さらなる経費圧縮を目指します。
- ② 滞納対策 ～ 収納率(現在:約99%)の向上を目指します。
- ③ 料金の適正化 ～ 決算状況や今後の事業計画を精査し、適正な料金設定を行います。
- ④ 経営状況の開示～ 広報・ホームページを通じ、決算状況を広く周知します。